

<江戸まち散歩>

洲崎遊廓跡から旧木場周辺を探索

日時:2020年1月30日(木) 天候:晴れ 19000歩 約13km

集合:東京メトロ東西線木場駅2番出口 10時

コース:木場駅→洲崎神社→洲崎遊廓跡→南砂緑道公園→砂町銀座商店街→仙台堀川公園→小名木川遊歩道→クローバー橋→横十間川親水公園→仙台堀川→木場公園→木場駅

参加者:小島(L) 班長=桑名 長廣 岩元

佐藤よ 勅使河原 平嶋 平石 仲 高橋文 小野里 熊島 中村年 小林 清水 森川 井内 伊藤美 山川
市村 丹後 平林勝 桑原 奥村 内海 吉田正 計26名

前々日までは冬には珍しい大雨となり山側では雪でしたが、この日は朝から青空が広がり4月並みの陽気。延期で人数が少ないかと思われましたが、結果は26名の参加となり、洲崎遊廓跡も昭和33年閉鎖以来の“賑わい”を見せることに！

木場駅辺りは古地図で見ると江戸時代の海辺にあたる所で、この日歩いた洲崎遊廓もかつては海だった埋立地を整備し造られました。また江戸時代からの吉原に比べ洲崎遊廓は、明治21年に文京区根岸から移転したものでその歴史は新しいが、今では大門通りの東側はマンションが建ち並びその面影はありません。南砂緑道公園はかつての都電荒川線38系統の軌道跡で、緑道沿いの南砂住宅団地は旧自動車製造東京工場跡地。そこから明治通りを北に歩くと、B級グルメで知られる砂町銀座商店街があり、この日も買い物客で溢れていました。仙台堀川公園でランチタイム。午後の部は小名木川遊歩道に沿って横十間川親水公園へ。この江東区内は運河が縦横に通っており、これらの運河沿いには整備された公園が点在し、区民の憩いの場所となっています。木場公園はかつての貯木場の跡地で、伝統芸「木場の角乗り」がその歴史を今に伝えています。神奈川在住の我々には普段馴染みのない深川界限、時には下町の風情に触れてみては如何でしょうか・・・

<フォトレポート 小島>





木場駅2番出口前で。朝から青空で気持ちがいい。



参加者には機関誌が手渡しで配られた。(経費節減！)



駅を出て大横川に架かる赤い新田橋を渡る。



風もなく鏡の様な水面にビル影が映る。満潮か？



洲崎神社。もとは洲崎弁天とも。



「玉の輿たまちゃん」何これ？



たまちゃんにあやかりたい皆さん！



【洲崎神社】

江戸時代からの名刹。当時この辺りは海岸で、元禄時代には時の将軍徳川綱吉の生母桂昌院の守り本尊でもあった。海難除けの杜として漁民の信仰を集め、歌川広重の浮世絵にも描かれ、当時は海岸から離れた小島に建てられており、浮き弁天とも呼ばれた。境内にはお玉の名で家光の側室となり、綱吉の生母でもある桂昌院に因み、出世の象徴として「玉の輿たまちゃん」のキャラクターが鎮座する。また江戸時代中期にこの一帯を襲った津波の惨状を記録するための「波除けの碑」も残っている。

←神社横の公園には当時の洲崎弁天を描いた広重の画がある。



旧洲崎遊廓の入口に架かる西洲崎橋。(当時はなかった)



橋の袂には戦災で亡くなった人の供養碑がありました。



朝の陽を浴びた東陽一丁目公園で身体をほぐす。



ストレッチは佐藤さんにお願ひしました。(お世話になります)



旧洲崎遊廓があった辺りには、それとなく当時の雰囲気漂う建物がありますが、いずれも戦後のものでしょう。



ここが遊廓内を南北に貫く大門通り。

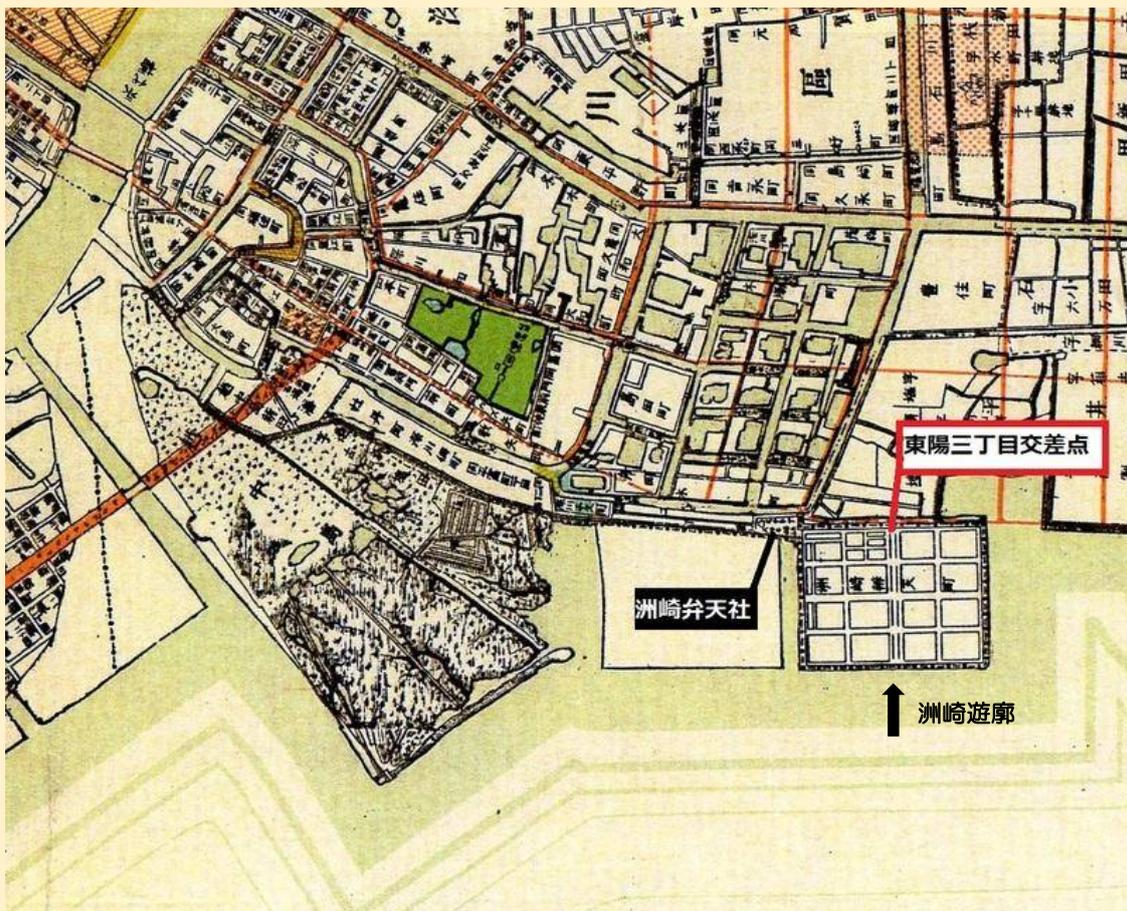


北端の洲崎橋には大門通りの碑が。



もう少し大きくても良さそうなもの。

★今はなき洲崎遊廓の当時の資料を集めてみました。



これは洒落た時計台のある大店。楼の名は不明。



こちらも大店です。大門通りに面した店のようです。



戦後のカフェスタイルの店。



青色のタイル柱がカフェの特徴です。



ここは戦後知られた「大賀楼」跡。

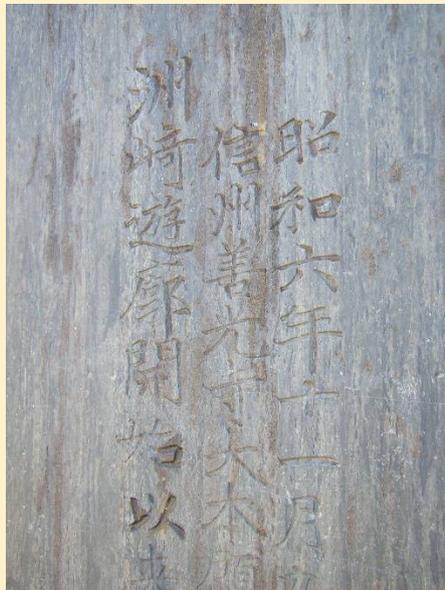
★洲崎遊廓とは★

元は元禄年間に埋め立てられた土地で、古くは深川十萬坪と呼ばれた海を望む景勝地でした。明治20年までに文京区の富坂に東京帝国大学が新築される計画があり、風紀上の観点から近くにあった根津遊廓の移転計画が立てられたが、吉原には受け入れの余裕が無く、明治19年に洲崎弁天の東側の広大な湿地を整備し移転することになり、現在の東陽一丁目に洲崎弁天町が誕生、明治21年に遊廓は移転された。遊廓の正面入り口の洲崎橋には吉原大門と同じような大門が建っていた。第二次大戦で深川地区は激しい空襲に見舞われ、昭和18年に遊廓の閉鎖令が下され跡地は軍需工場となったが、昭和20年3月の東京大空襲で灰燼に帰した。しかし終戦の半年後には「洲崎パラダイス」として復興。風光明媚な土地柄から吉原以上の人気を誇る歓楽街として隆盛を誇った。昭和31年製作の「洲崎パラダイス赤信号」では、ロケにより往時の洲崎の様子が描かれている。その後、昭和33年4月1日に施行された売春防止法によりその歴史に幕を下ろした。昭和42年には町名変更により、洲崎弁天町1・2丁目は江東区東陽に統合された。



この画で海に面した場所だったことが分かります。

洲崎パラダイスの大門。我々はこの大門通りを歩きました！



< 洲崎遊廓死亡関係者の供養碑 >

(拓本をとった跡もあり風化して読みにくい)

昭和六年十一月九日

信州善光寺大本願大宮尼公台下御親修 洲崎遊廓開始以来先亡者追善供養執行記念 洲崎三業組合建立とある。

碑文の概要は、平成6年11月9日に、長野の善光寺大本願(浄土宗)のトップの119世大宮智榮上人(尼僧)を招いて、上人による正式な段取りによる、洲崎遊廓開始以来これまでに死亡した者の追善供養を行ったことを記念して、洲崎三業組合が設置したもの。「白菊のはなにひまなく おく露の なき人(のふ なみたなりけり)の歌が添えられています。沁みますね〜



大門通りに残る東陽弁天商店会。唯一雰囲気を残す場所。



洲崎川に架かる洲崎橋跡。下は遊歩道になっています。



映画「洲崎パラダイス」にも登場する昭和の香りの一角。



それらしき風情が漂う洲崎川緑道公園から見た遊廓街跡。



途中で小休止。早速座る常連さん！



日当たりが良く暑いくらいです。



東陽町駅を通り南砂緑道公園へ。



ここは歩行者と自転車道が色分け。



横には巨大な南砂団地があります。



緑道沿いには長州藩の大砲製造所跡があった。



これがその青銅砲のレプリカ。実物はフランスにあります。



この緑道公園は元都電荒川線38系統の線路跡。



春は桜が満開となる地元の憩いの場所でもあります。



証拠の車輪が置かれていました。



上は貨物線。立体交差でした。



同じ場所を撮った当時の写真。



今見ても洒落たデザインの都電です。



お待たせしました。お目当ての砂町銀座商店街です。



早速お買い物のメンバー。コロッケ？ 毎度あり～～



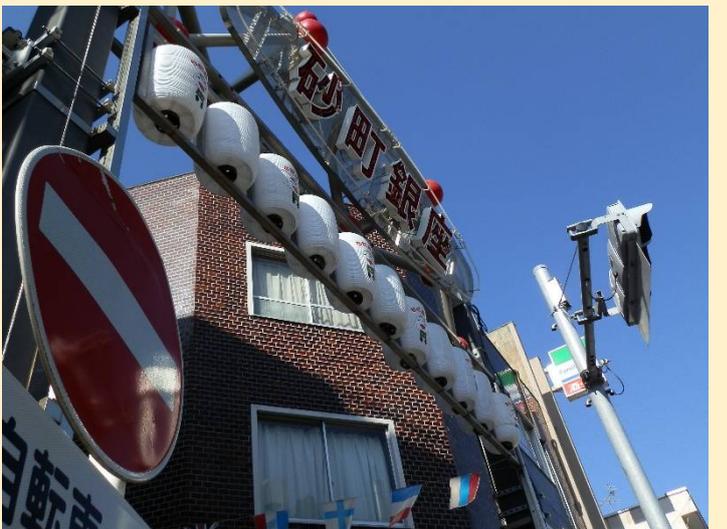
こちらではKWCの行列？ いや、じっくりと品定めです。



パリコレならぬ、これがスナマチコレクション風な歩き方？



集合場所の丸八通り側の出口で。買い物の成果は如何に。



商店街での時間を30分とりましたが足りなかったようで・・・

<砂町銀座商店街>

明治通りと丸八通りを結ぶ東西に延びた商店街。戦前は30軒ほどの商店街だったが、昭和20年の東京大空襲で焦土となった。戦後に店舗数が増えはじめ、昭和38年頃に現在の形になり、今では昭和の色彩を色濃く残した下町の商店街となっている。全長670mの通りに180軒程の店舗がひしめく。最近では各マスコミ等でも取り上げられ、地元民以外の来客も増えている。



仙台堀川公園でのランチタイム。



買い物時間の関係で遅くなってしまいました。



太陽を浴びてのどかな時間が過ぎてゆく。



川沿いは桜が多く、春には花見客で賑わいます。



小名木川に架かる「塩のみち橋」を渡る。



芭蕉の句がある大島稲荷。佐竹神社も同居。



小名木川に沿って整備された遊歩道を歩きます。



春のような陽気に誘われて会話が弾む？



後ろから見ると“小学生”の遠足のような3人・・・(失礼!)



横十間川と交差するクローバー橋からはスカイツリーが。



ここからは横十間川親水公園に沿って歩くことに。



よく整備された園内は下町とは思えないほど。



足がつったようで薬と水を。



皆さんも心配そうに見守ります。



その先で小休止。疲れた～～？



カモの家族？色合いが違うようですが・・・



川沿いには伝統の川並衆を描いた壁画があった。



途中には古代の広場もあり子供たちの遊び場に。



木場公園に到着。陽もだいぶ傾いてきました。



本日最後の上り！ 楽勝ですね。



仙台堀川に架けられた木場公園大橋を渡ります。



木場公園大橋をバックに女性だけの集合写真！ 男性陣から「男はいいよ」と言われたので・・・つい。



最後は木場の角乗りが行われるプール？を見学です。



佐藤さんのクールダウンで本日の締めとしました。

※説明文及び写真はWebサイトより一部引用しました。

<今日の一言>

この日は朝からハプニングがありました。伝助に〇がないのに来た人が・・・大丈夫でしょうか？ またトイレに忘れ物をした人もいて、素晴らしい青天ながら皆さんの“雲行き”が気にかかりました。本日のお楽しみ砂町銀座商店街では、女性陣がその安さにビックリしていましたが、普段はA級グルメの皆さんには、このB級グルメは如何だったのでしょうか。ただ殆どの店は家族の手作りなので、スーパーとは違って作り手の顔が見え安心感が違いますね。中には弁当を用意せずに、ここでお手頃ランチを調達するその道の“ベテラン”も。

最終的に距離が若干伸びましたが、個人での下見とはペース(歩幅も)が違うので、どうしても本番は長めになります。それに標準歩幅70cmも団体で歩くとなると60cm程度かと思われるので尚更です。それを見越して機関誌に多めの距離を記載すると、二の足を踏む人が出て参加者が減る懸念が・・・そこで下見時には本番並みの歩幅で歩かないと、後で誤差が生じることとなります。しかし±2kmくらいまでなら過去の例からすると許容範囲と言うことでしょうか・・・

END